

令和2年度 第1回学校関係者評価委員会

日 時：令和2年10月23日（金）19：00～19：50

場 所：長崎医療技術専門学校 会議室

出席者：長尾 博，吉岡正恒，杉本直美，有福浩二，大坪 健

分部哲秋，韋 傳春，荒木一博，杉町尚美，早野和之，岩永隆之

欠席者：なし

座 長：韋

1. 出席者紹介

2. 校長挨拶

3. 前回会議後の報告

一般社団法人リハビリテーション学校評価機構認定審査結果について（別紙資料）（韋）

- ・資料の訂正、理学療法学科の指摘箇所⑩ 留学者→留年生。
- ・今年度より法的に義務化され、5年毎の更新が必要となった。
- ・令和元年11月に、理学療法学科、作業療法学科ともに評価を受けている。
- ・審査結果は「適」「基準を満たしている」のみの通知。
- ・他は指導時の内容を参考に改善していく。

4. 開会

当委員会第6条の規定による出席数を満たしており、本委員会は適切に成立していることを確認する。

5. 委員長選出

委員長は長尾 博先生ですすめさせて頂く。

6. 審議事項

『2020年度保護者アンケート結果について』

荒木）審議事項として2020年度保護者アンケート結果について報告する。

9/1～10/10の期間で保護者アンケートを実施した。スマホと紙面での解答のどちらでも可能とした。（以下別紙に沿って説明）

162名の保護者が対象、回収率は65.4%（昨年度58.9%）で学年、学科で大差は無い。「質問1：学校のスケジュールや学校行事の様子がわかる。」では「そう思う」「ややそう思う」の意見が41.5%であり、昨年度（50%）より若干減少している。コロナウィルス感染症の影響で急なスケジュール変更が多く、行事予定に反映されてなかったのではないかと考える。「質問2：学生はわかりやすい講義を受けていると感じる。」では「そう思う」「ややそう思う」の意見が昨年度より6%改善している。「質問3：学校は学生の安全管理や健康管理に配慮していると思う。」では、「そう思う」が59.4%であり、昨年度27.1%から大幅に改善している。コロナウィルス感染症の予防対策が評価されていると考えられる。質問4：担任や教員は学生からの相談に対応していると感じる」では、「そう思う」が60%であり、昨年度46.3%から改善している。質問5：学校での学習指導は家庭学習に活かされていると感じる」では、「そう思う」が40%であり、昨年度22.9%から改善している、自宅学習に活かされている様子が保護者にも伝わっているのではないかと考えられる。

「質問6：社会人や医療人としての人間性を育む教育が行われていると感じる」では、「そう思う」が45.7%であり、昨年度の31.3%から改善している。「質問7：保護者からも学校や担任に連絡がとりやすい環境であると感じる」では、「そう思う」が30.1%であり、昨年度が25%で例年と大差が無い評価結果である。「自由記載」では、少数意見ではあるが紹介する。**学習面**については「テストの問題用紙の持ち帰らせてほしい」「間違えた部分についての指導がない」「テストがとても難しい」「オンライン授業に不安がある」「マスクでの講義で声が全く聞こえない」「校内で勉強会など集中出来る場所と時間を設けてほしい」「国家試験対策を重視してほしい」との意見をいただいている。**学校生活**については「16時30分には下校させて欲しい」「新型コロナの影響で出来なかった解剖実習ができるようにして欲しい」「入学式も縮小したため、先生と面談したい」などの意見をいただいている。**その他**については、コロナウィルス感染症対策などについてなど、励ましの言葉も頂いている。

以上に関して助言、意見をお願いしたい。

長尾) コロナウィルス感染症の影響か、ほとんどが良い回答をもらっている。

大坪) 「質問6：人間性を育む教育が行われている」とはどのような教育を指すのか。

杉町) 認知症サポーター養成講座やゲートキーパーについてなどと考える。今年度はできなかった行事も含まれる。1年次の合宿では協調性、仲間意識の育成。さるく博では先輩、後輩のつながりなどが考えられる。

早野) アダプトプログラムでは学生と共に風頭地区の清掃活動も行っており、人間性の育成に役立てている。

荒木) 実習前のオリエンテーションでは、向かう姿勢、マナーもしっかり指導している。

長尾) 学生に聞く場合と保護者へ尋ねる場合では、結果が違ふかもしれないが、ここまで良い結果が出ていることから、何らかのかたちで保護者には伝わっていると思われる。

長尾) 人間性とは幅広い概念であるため、回答する保護者がどのように解釈し回答したかわからないが、患者さんに対する人権を重視した人間関係と仕事上のチームワークを重視した人間関係の2つであると思われる。わかりやすくするのであれば、具体的に記入した方が良い。

韋) 行事や対策は行っているが、限られた環境の中で何とか実現しようとしている学校側の姿勢は学生に伝わっているのではないと思う。

吉岡) 質問8の自由記載欄についての保護者へのフィードバックはどのように行っているのか。

韋) 保護者の意見はホームページに掲載し、各係で対応しフィードバックしている。

吉岡) 「質問3：学校は学生の安全管理や健康管理に配慮していると思う。」の項目で、コロナ渦の中で学生のメンタルヘルスに関して何か活動していることはあるのか。

早野) 週1回のスクールカウンセラーを導入しており、新入生は全員面談をしている。また、スクールカウンセラーについてのポスター掲示も行い、カウンセリングが受けやすい環境を作っている。

大坪) 2・3年生でメンタルヘルスに問題がある学生の実習先への伝達はどのようにしているか。

早野) 大きく影響するようであれば担任から個別に対応している。カウンセリングの情報そのものは伝えていない。

大坪) 他校であるが、メンタル的に弱い学生であることの情報がなく、実習途中で中断となった例もある。

荒木) 学科のミーティングで共通認識を持ち、情報提供が必要な学生は伝えている。

韋) 遠方でもオンライン面談を行い、顔を見て相談に応じる対応もあった。

長尾) 大学でもオンラインで実施していたが、変化を及ぼすためには直接会って行う方が良い。精神面の問題が多い学生は、学内で相談に行かず、クリニックに行っているケースが多い。そのような学生は休学後の心の問題が多い。それは、休学中のストレスも在学中より多いということが要因している。

有福) 学生向けに同様のアンケートは行っているのか。保護者との差や1人暮らし、保護者と同居などもチェックした方が良いのではないかな。

荒木) 学生向けには行っていない。成績表送付の際に保護者宛の封筒に同封している。相対的には同居している学生が多い。

杉本) 子どもと同居していないため「間違えた部分についての指導がない」などは他の保護者の方は把握しているんだと感じた。たまに会った時に会話の中から学校側の取り組みや子どもの人間性の成長を感じる。同居の方と違っていることも確かである。最近は男子学生でも母親との会話が多くのコミュニケーションを取っている。

有福) アンケート自体が保護者と学生とのコミュニケーションにも役立つと考えられる。

長尾) 結果をどう活かすかが重要である。良い結果であるので学校PRにも活用できると考える。

韋) 試験問題の返却について、過去問重視の学習にならないようにとの考えだが、学生が学習しやすいように考えていきたい。

長尾) オンライン授業はうまく進んだのか。

杉町) 教員もipadのトレーニングを行い、学生と共に慣れていった。大学の講師の中には直接配信を行ったり、本校からオンライン授業を行ったケースもあった。結果として講義が後方にずれるかたちになり、一部講義と定期試験が並行することになった。

韋) ipad導入のタイミングが良く、うまくオンライン授業が行われた。

韋) 「先生と面談したい」という意見もあった。保護者会や授業参観も無いが保護者として意見をもらえないかな。

杉本) 専門学校なので、授業参観の希望は無いが、子どもが悩んでいる時には、機会があれば先生と面談したいと思った。結果的には子どもに直接先生に聞いてみるように促した。

韋) いつでも連絡して構わないことや広報誌などでも学校中の様子をお知らせしている。

杉本) 子どもの実習が終わり、病院施設の受け入れがありがったかったが、学校側の努力も感じる。実習に出れたことで子どもの成長につながったと感じる。感謝している。遠方の実習も多いので宿舎費も十分なのか気になる。

韋) 3年生の前半1ヶ月、2年生理学療法学科の一部が学内実習であった。今後は全員実習できるように努力する。

杉本) オープンキャンパスでは作業療法学科の魅力を伝える授業があったと思うが、生徒の感想はどうだったか。

荒木) 本年度は作業療法学科をメインに進めたが、オンラインでの実施のため実感としては感じられない。継続していくしかない。限定公開の動画配信サービスのかたちであるが、教員もスキルが上がっている。

韋 ）広報関連の業者からも、再生回数から見ても、九州内で成功している方であるという評価をもらった。

杉本）作業療法学科の実習施設数が多いことに驚いている。

荒木）作業療法学科は初期時に実習施設数が少なく、九州全域にお願いした結果である。近年、お願いしていない実習施設もある。

7. 総評

長尾）今回も貴重な意見をいただいている。また、アンケートでも良い結果も出ている。学校として参考にして改善していったほしい。

8. 謝辞

（分部）短い時間だったが、沢山のご意見をいただき感謝する。

9. 閉会

韋 ）これを持ちまして第1回学校関係者評価委員会を閉会する。

次回の学校関係者評価委員会は、令和3年3月26日（金）を予定する。